

# 謹賀新年 平成24年 あけましておめでとございます



新ひだか町長 酒井 芳 秀

町民の皆さま、新年あけましておめでとございます。皆さまにおかれましては、希望に満ちた輝かしい平成二十四年の新春を、ご家族おそろいで健やかに迎えのことと拝察いたし、心からお慶び申し上げますとともに、日ごろから町政執行に對しましてご理解ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

昨年を振り返りますと、何といたしましても3月11日に発生した東日本大震災は大きな津波も誘発し、その被害は死者が1万5千人を超え、建物は跡形もなく破壊、その範囲は東北地方でなく関東地方や北海道など広範囲に大きな被害をもたらし、本町においても、津波により漁船の沈没などの被害を受けたところでございます。この地震の発生は多くの課題を生み、国及び地方は早急に課題解決に取り組んでいかなければならないものであり、被災地の復興に向け、国の主導による1日も早い政策展開が望まれます。明るい話題としては、本町出身の佐々木舞さんが一昨年のアジア大会に続き、

韓国で行われました世界ソフトテニス選手権大会の女子ダブルスで念願の金メダルを獲得、国別対抗戦となる団体においても銀メダル獲得に大きく貢献され、その活躍は町民の誇りであります。

競馬界においては、スタミナ・持久力、精神力が必要とされ、加えて近年は瞬発力やスピードも要求される春の天皇賞をヒルノダムール号が並みいるG1馬を押さえ優勝し、また、一昨年に引き続き、スーパードリーム号が統一G1であります帝王賞並びにJBCクラシックに勝利するなど、今後の当町生産馬の活躍を大きく期待させる結果を残しております。

一昨年存続が決定しましたホッカイドウ競馬は、昨年濃霧による競走中止などのアクシデントがあったものの、それ以外は大きな事故もなく無事閉幕を迎え、出走頭数や競走数の確保など魅力あるレースづくりや他主催場との連携強化などにより計画額及び前年度実績額を上回る販売額を確保することができました。今後におきましても、地域の基盤産業である軽種馬の振興発展のため、ホッカイドウ競馬が安定的な運営となりましよう、皆様の一層のご支援ご協力をお願い申し上げます。

さて、国内経済を見ますと、東日本大震災以前から長期にわたり景気の低迷が続いており、デフレ経済、財政赤字、少子高齢化などの深刻な問題を抱えておりましたが、こういった状況下で発生した大震災は更なる危機の上乗せとなっており、東日本大震災からの復興を実現しつつ、国内経済の安定を維持していくという困難な課題を克服していかなければならぬ

町民の皆さまにおかれましては、希望に満ちあふれる輝かしい新年をお迎えになられましたことと心からお慶び申し上げます。

平成二十三年の最大事は「東日本大震災」でありました。あの3月11日、午後2時46分は三月定例議会でも一般質問中でした。議場はゆっくりと大きく、長く揺れました。中断してテレビ情報を確認すると「大津波警報」が日高沿岸にも発せられていることから、議会は延会し、町は直ちに「災害対策本部」を設置し、職員総動員でその対策にあたりました。皆さまのご家庭・職場ではいかがだったでしょうか。時がたつにつれ、東北地方の被害は拡大し、戦後最大の震災となりました。これに加えて福島県の原子力発電所も被害を受け、放射能の影響が出るなど、この日以降、日本の政治も経済も環境も一変する戦後最大の危機的状況となつてしまいました。早速、被災地の皆さまを支援しようとする多くの国民が立ち上がりましたが、新ひだか町の皆さまも積極的に支援の輪に加わってくださいました。心のこもった救援物資の数々、多額の義援金を寄せていただいたほかに、福祉団体、民間団体の方々が被災地復興のボランティア活動に出向かれました。町民の皆さまの温かい「絆のお心」に感謝申し上げます。また、町からも備蓄食料や物資、飲料水等の送付、緊急消防援助隊の派遣等が行われました。日高沿岸にも押しよせた津波によつて、当町でも避難勧告・指示が発せられました。多くの町民が指定場所へ避難され、人的被害はありませんでしたが、沈没・破損した漁船の被害があり、水産関係でも4,570万6千円に達しているとの報告されております。改めて、被災で痛む皆さまに心からお見舞い申し上げます。早期復興をご祈念申し上げます。また、お亡くなりになりました方々に謹んでお悔やみ申し上げますと共に、心か

い情勢であります。地方経済においても長期にわたる景気の低迷が続いており、将来にわたる皆さん一人ひとりの生活に暗雲の懸念が依然として残っております。こうした中で、不況にあえぐ町内経済の活性化を図る目的で引き続き地域商品券の発行、多業種に及ぶ公共事業など積極的な施策を実施してきたところであります。

本町の基幹産業であります第一次産業につきまして、農業は、ラニーニャ現象に伴う異常気象を心配しましたが、水稲については、出荷量、額とも計画を上回り、ミニトマトは出荷額が七億二千万円余りとなり過去最高を記録しております。花きは長雨による日照不足から出荷量は減少したものの1本あたりの単価が好調で販売額は前年度を上回っております。新ひだかブランド黒毛和牛「みついいし牛」は、和牛市場での原産事故の風評被害等により大きく落ち込むと思われましたが、販売頭数・売上額とも微減という結果におさまりました。また、育成牛は出荷頭数及び販売金額ともに、前年より大幅に増加しております。

軽種馬産業においては、国内景気が低迷する中「北海道市場」は売却頭数、売却率及び売却総額とも前年を上回り、売却総額は昨年に引き続き、五十億円を突破する健闘をみせました。

漁業においては、海水温が高く漁獲量が大幅に減少した一昨年と比較し、サケ・マスは三割増、カレイも四割増となった反面、スケトウタラは四割減、ウニ・ホツキは三割減となりました。それでも漁獲量全体としては微増となりました。生産額

らご冥福をお祈りいたします。現在、被災地から当町に避難されておられます方は、15世帯・33人です。万全を期した受け入れ体制、安心して生活できる環境整備に努めていかなければなりません。「町民の生命と財産を守る」これは地方自治の本旨であり、行政・議会の使命であります。六月の定例議会では、6名の議員が①地域防災計画の今後の見直し②緊急一時避難場所の指定③津波対策④災害時の危機管理体制のあり方⑤防災訓練⑥本町の被害状況と復興策⑦防災教育⑧沿岸漁業対策⑨脱原発について等々の質問を行い、行政側と対策を議論しました。その後の委員会や本会議でも質問を続け、行政と共に対策にあたっております。

若い町民が各界で活躍され、迎えた新しい年に大きな希望を持たせてくれました。

スポーツでは、全道中学校柔道大会で見事優勝して全国大会に出場し、教育奨励賞を受賞された静内中の今城君、世界ソフトテニス選手権大会で優勝に輝いた佐々木舞さん、激戦の支部予選を勝ち抜き、全道大会に駒を進め、町民の心を躍動させてくれた静高野球部がありました。

各団体の青年の皆さまの活躍もまた、めざましいものがありました。道営競馬の計画達成を目指し、Aiba祭で中心的役割を果たしておられた軽種馬農協青年部の皆さん、街の活性化のイベントの開催や青少年健全育成にボランティア活動を実施された商工会青年部の皆さん、漁業を守り伝えようとする地元の小中学校に「出前授業」を行い、大好評を得ておられるひだか漁協三石地区青年部の皆さん、北海道の新規就職優良経営者として最優秀賞の栄誉に輝かれた27歳の宮田直希さん。それに加え、去る四月、三石地区の各小学校が伝統ある校風と長い歴史を閉じて統合した新生、三石小学校では、189名の児童が「心を

については、大震災や福島原発事故の影響による安全な鮮魚を求める声からか生産額は三割を超える高い伸びとなりました。

第一次産業は、今後参加が検討されているTPP（環太平洋戦略的経済連携協定）への対応が緊急的課題でもあり、日本の食糧基地としての役割を果たしてきた北海道にとつては、計り知れない影響を受けることが懸念されており、しっかりとした足腰の強い一次産業を目指していかなければならないと考えております。

現在、本町は「公平・思いやり・郷土愛」と「融和と一体」を基本姿勢として、新たに「チャレンジ・攻め」への姿勢を持ち「涼夏少雪の郷」としての新ひだか町の魅力を全国へ発信するまちづくりに取り組んでおります。

これまで、ふるさとが元気に飛躍するため、町民の皆さまのご理解とご協力により痛みを分かち合っていたり、また、財政の健全化に努めてまいりましたが、その結果、徐々に明るい兆しが見えてきております。引き続き財政の健全性を保持し、合併の効果を最大限に活かしながら「創造・創始・創立・独創」に関わります「創」の精神のもと、新しい文化や産業が躍動し、全ての町民が心豊かな暮らしをおくることのできる「新ひだか町」を目指し、町民の皆さまの先頭に立ち、一層の努力を傾注する所存であります。

最後になりますが、本年も昨年同様、町政に対するご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げますと共に、皆さまのご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。年頭のごあいさつといたします。

一つにして「を合言葉に先生方のきめ細やかな指導と広い地域を包括するPTAの力強いご支援のもと、自主的に活発な児童集団と成長し、元気いっぱい、明るい歓声が三石の高山にこだましているとお聞きし、希望に満ちあふれる心豊かな未来の街づくりの息吹を強く感じます。青少年が活躍する姿は、町民に希望と勇気を与え、躍動する街へと導いてくれます。新しい年を迎える心が大きくおどります。

わが町は、誕生して七年目を迎えました。取り巻く状況は極めて厳しいものがありますが、私共は町民一体となつて着実に乗り越えていかなければなりません。今、北海道には144の町村がありますが、わが町は、人口、世帯数、面積、予算規模、議員定数のいずれも上位5番以内の位置にいます。私は今や、北海道の町や村の先進的役割を担っている町だと確信しております。その責務と責任をしっかりと果たすために、私たちは更に研鑽を積み、情報の公開を「層進め」町民に開かれた議会「町民に見える議会」を作ります。

結びになります。町民の皆さまのより一層のご理解とご協力を心からお願ひ申し上げますと共に、皆さまのご多幸をお祈り申し上げます。年頭のごあいさつといたします。



新ひだか町 会議議長 五十嵐 敏 明



# 1月

- 5日／平成23年新年交礼会
- 7日／防災祈願セレモニー ①
- 9日／第5回新ひだか町成人式 ②
- 11日／本間ナツさんに白寿祝状授与
- 12日／交通安全祈願祭
- 14日／アイヌ文化普及啓発セミナー（～15日）
- 16日／まちづくり懇談会（～2月10日）
- 16日／第29回子どもカルタ大会
- 16日／男女共同参画料理教室『お父さんとチャレンジ☆ピザづくり教室』
- 29日／第5回町民スケート大会
- 30日／延出小学校閉校式
- 30日／西村アイさんに白寿祝状授与



# 2月

- 1日／町総合計画審議会
- 5日／第20回ウインターデ・ライト
- 9日／前田忠昭さん（三石豊岡）が第25回名人会肉用牛枝肉研究会で最優秀賞を受賞
- 10日／社団法人エルピーガス協会日高支部と災害時応急・復旧活動支援協定を締結
- 13日／新ひだか町ソフトバレーフェスタ
- 15日／道の駅みついにしに「おしらせ道ねっと」設置
- 22日／役場静内庁舎に太陽光パネルを設置 ③
- 23日／日高の森林づくりを広げる集い
- 25日／北海道技能士フォーラム in ひだか
- 26日／静内図書館季節のお話会「ひなまつり会」 ④



# 3月

- 1日／町公式ブログスタート
- 3日／町観光キャッチフレーズが「風かおる 優駿桜国 新ひだか」に決定
- 6日／第5回新ひだか町公民館まつり ⑤
- 8日／北海道日本ハムファイターズのキャラクターB☆Bなどが本桐保育所、青葉保育所を訪問 ⑥
- 9日／町議会インターネット配信試験放送
- ▶11日／午後2時46分頃、東北地方太平洋沖地震（マグニチュード9.0、国内観測史上最大）が発生
- 22日／東日本大震災被災地支援対策本部設置
- 25日／レキシントン市友好親善訪問団派遣（～4月2日）
- 29日／石丸松男さんに白寿祝状授与



# 4月

- 1日／新ひだか町誕生5周年セレモニー
- 2日／東日本大震災救援物資受付（～3日）
- 4日／三石地区コミュニティバス運行開始
- 6日／新入学児童交通安全啓発（～7日） ⑦
- ▶10日／北海道知事選挙・北海道議会議員選挙  
北海道知事選挙では高橋はるみ知事が再選
- 12日／ふるさと観光講座（～16日）
- 26日／国際森林年 森林づくりフォーラム in ひだか
- 27日／遠藤ソヨさんに白寿祝状授与
- 29日／町民ハイキング ⑧



# わがまちの2011

## SHINHIDAKA LOOK BACK 2011

平成23年も終わり、平成24年のスタートです！！  
 新ひだか町が誕生して5周年を迎えた昨年。  
 新ひだか大漁まつりや二十間道路ハーフマラソン大会など、新しいイベントが数多く開催されました。  
 そして、3月11日に発生した東日本大震災により、今まで以上に「防災」を意識する年となりました。  
 今月号では、昨年のわがまちのできごとを拾い上げてみました。  
 こうして振り返ってみると、いろいろなことがありましたね。  
 平成24年はたくさん良いことがありますように…。  
 （▶は町外、その他のできごと）





# 9月

- 3日/平成23年度夏休み子ども作品展(～4日)
- 3日/林家とんでん平落語会
- 4日/ノルディックウォーキング大会 すこやかロードを歩こう in 新ひだか
- 4日/輝け!カラオケ夢舞台 ⑰
- 8日/救急の日記念事業
- 14日/三石小学校でNHK出前授業 ⑱
- 15日/第9回ドリンクラリー
- 17日/蔵三5周年感謝祭(～18日)
- 26日/花いっぱいコンクール表彰式
- 30日/静内高校野球部が第64回秋季全道高校野球大会に初出場
- 30日/交通事故死ゼロを目指す日町民安全大会



# 10月

- 4日/クラリネットとピアノのタベ
- 5日/第23回北の大地日高管内ゲートボール大会
- 8日/わんぱくチャレンジスクール・海投げ釣り
- 9日/第1回二十間道路ハーフマラソン大会 ⑲  
第36回シベチャリマラソン大会
- 9日/2011しずない農業まつり
- 11日/神田キヨさんに白寿祝状授与
- 14日/東日本大震災をふまえ津波を想定した防災訓練を実施
- 16日/第6回新ひだか町民芸術祭(～11月13日) ⑳
- 29日/プチグルメツアー
- 29日/第14回新ひだか町総合ケアセンター健康まつり
- 29日/読書週間事業 中島興世講演会



# 11月

- 1日/新ひだか町出身の佐々木舞さんが第14回世界ソフトテニス選手権大会女子ダブルスで優勝
- 2日/津澤ナミさんに白寿祝状授与
- 3日/新ひだか町・新ひだか町教育委員会表彰式
- 3日/岡田スタッド生産のスマートファルコンが第11回JBCクラシックで史上4頭目の連覇
- 12日/第27回北海道ハンドベル・フェスティバル
- 16日/防災気象講演会
- 18日/三小まつり ㉑
- 20日/第6回新ひだか町長杯争奪混合バレーボール大会
- 20日/第3回日高管内「子ども芸術祭」 ㉒
- 21日/松村コトさんに白寿祝状授与
- 25日/美馬市(旧脇町)との姉妹都市提携再調印式



# 12月

- 1日/第7回みついし牛枝肉共励会褒賞授与式
- 1日/北海道日本ハムファイターズ野球教室
- 2日/第38回新ひだか町三石老人スポーツ大会 ㉓
- 3日/フットパス体験会
- 3日/第29回町民と隊員の音楽の集い
- 4日/春立小学校閉校式
- 4日/しずない海味の市
- 5日/日高中部消防組合 本田強さんと加藤稔さんへ感謝状を贈呈
- 8日/日高1004人の会ラストコンサート 杉田知子バイオリンのタベ ㉔
- 13日/地産地消講座「海の幸で正月料理」



# 5月

- 1日/みついし花だより共撰出荷 ⑨
- 1日/橋本牧場生産のヒルノダムールが第143回天皇賞(春)を制し、GI初勝利を飾る
- 3日/第48回しずない桜まつり(～15日) ⑩
- 4日/第14回静内ロータリークラブ・日高しんきん杯桜舞サッカーフェスティバル(～5日)
- 16日/松田艶子さんに白寿祝状授与
- 18日/町有バス観光PRプリント実施
- 20日/町長と語らナイト(町商工会青年部)
- 24日/町特産品ミニトマト『太陽の瞳』出荷本格化
- 24日/森は海の恋人運動 国道周辺緑化推進事業植樹祭
- 25日/地域安全キャンペーン
- 29日/札幌三石会定期総会



# 6月

- 1日/酒井や江さんに新ひだか町善行表彰
- 1日/花いっぱい運動(～3日)
- 3日/札幌静内会定期総会
- 5日/第6回新ひだか町エプロンピック ⑪
- 5日/第23回イチャルパ ⑫
- 15日/レキシントン市友好親善訪問団来町(～24日)
- 19日/テニボンサークル「ポンキーズ」全道大会優勝
- 21日/第38回静内支部老人スポーツ大会
- 28日/ひだか漁協三石地区青年部・女性部出前授業 海物語 inみついし
- 29日/岡田スタッド生産のスマートファルコンが第34回帝王賞を制する 統一GI3連勝



# 7月

- 1日/近藤良平さんミニライブ
- 3日/第17回みついし蓬菜山まつり
- 5日/橋本ふじゑさんに白寿祝状授与
- 7日/第10回みついし花き振興会切花品評会
- 16日/新ひだか大漁まつり2011 ⑬
- 18日/NHKジュニアスポーツ教室
- ▶18日/2011 FIFA女子ワールドカップドイツ大会でサッカー日本女子代表が初優勝
- 19日/町立病院で遠隔診療システムの運用開始
- 22日/第5回新ひだか夏まつり(～8月15日) ⑭
- ▶24日/地上アナログテレビ放送が終了し、地上デジタル放送に完全移行
- 27日/静内高校3年の木田将平くん(陸上競技・砲丸投げ)と同高2年の永浦渉さん(カヌー競技・カヤック1人乗り)がインターハイに出場



# 8月

- 1日/ご当地グルメ「桜ロコモコ」販売開始
- 2日/陸上自衛隊第7高射特科連隊長兼静内駐屯地司令・小林俊也1等陸佐をふるさと大使に認定
- 7日/七夕宵祭り ⑮
- 18日/静内中学校3年の今城祐也くんが男子柔道・81kg級で中体連全国大会に出場
- 20日/第5回ひだか特産市(～21日)
- 27日/第5回新ひだか町ふくしトピア
- 28日/第36回シベチャリ駅伝大会
- 28日/ポニーばんば大会 in 新ひだか町 ⑯
- 28日/第16回南北海道パークゴルフ大会(男子の部)
- ▶30日/野田佳彦衆議院議員が第95代内閣総理大臣に就任

